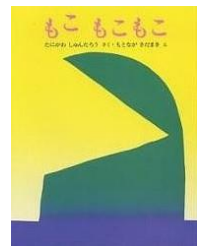




# 楽々亭通信

第25号  
発行: NPO法人没イチの会・京都  
令和4年10月1日号

## 9月の楽々亭を 開催いたしました



「仏さまとなつて、そばにいる」

本願寺派布教使

安堂芳雅

みなさんこんにちは、安堂です。少し涼しくなったので空き部屋を片付けていたら、懐かしい絵本が出てきました。

私の好きな詩人、谷川俊太郎さんの「もこもこもこ」というタイトルの絵本です。

シンプルな絵と、短い擬音語のならば心が心地よい、子供に大人気の絵本で、祖母が曾孫にあたる私の娘を膝にのせて、繰り返し繰り返し読んでいた本です。ひとり、静かな部屋で読んでみると、「もこもこもこ...」により、により

により「...」と、くすぐり合っているような祖母と娘の笑い声が文字に重なって聞こえてくるような気がして、やさしい「谷川俊太郎ワールド」に引き込まれました。

祖母はずいぶん前に亡くなり、娘も昨年嫁ぎましたが、祖母の「私たちはこの世の縁が尽きた時、阿彌陀さまの願いどおり、お浄土に生まれ、さとの仏となるんだよ。」という言葉を思い出し、大きな安心をもらっている自分を感じます。

「いのち終わった後、お浄土に生まれ仏さまになる」、そして、仏さまのはたらきとして、この迷いの世界にいる私たちに寄り添

って、「おなじお浄土に生まれて、仏さまとなるいのち」へと導いてくれているのです。

先日の夕刊に、掲載されていた谷川俊太郎さんの詩をご紹介します。

「あ いるんだ」

谷川俊太郎

パソコンの中から  
死んだ友人の  
元気な声が聞こえてきた  
あ いるんだ

なんだ  
別れなくてよかったんだ  
今この現実  
ひそむ真実

見えなくても  
聴こえなくても

さわ  
触れなくても  
すぐそばに

大人なのに

生まれたての  
顔で  
笑ってる

そっちは  
もう 未来かな？

『どこから言葉が』  
(令和4年9月7日朝  
日新聞 夕刊)

亡くなった人を、「もういない人」「過去に生きた人」にしているのは、あなた自身かもしれません。



## 楽々亭に参加してみてもいい

その5

歎異抄を勉強しています

わたしたちに馴染みの浄土宗や浄土真宗は、「阿弥陀経」「無量寿経」「観無量寿経」の3部経を教えの中心にしています。それは法然上人や親鸞上人が浄土宗、浄土真宗を開かれた元になっているお経です。

人間は皆んな死にます。人間だけではなく生命のあるもの皆朽ちていきます。死んだ後はどうなるのでしょうか誰も分かりません。仏教ではどう言っているのでしょうか？六道輪廻を繰り返すとも言われていますが、私の浅い知識ではお釈迦様は死んだ後のことを詳しく説いておられないと思います。生きている今のことは詳しく話されていますが、先祖が苦しんでいるとかそんな事は仏教では言っていない人はいません。  
今親鸞上人の「歎異抄」を勉強しています。西田幾多郎（哲学

者）、三木清（哲学者）、倉田百三（作家）、司馬遼太郎（作家）、梅原猛（哲学者）等多くの人が絶賛する本ですが、親鸞上人がこう話されたと言う記録本です。第一条から十八条まであります。その中の第三条ですが有名な御言葉があります。

「善人なほもつて往生をとぐ。いはんや悪人をや」

ということを親鸞上人が仰ったそうです。簡単に言うとう「善人が救われるのだから、ましてや悪人は尚更救われる」どう言うことでしょうか、その反対ならわかるのですが、私にはまだその域に達して居ませんので分かりません。

念仏さえ唱えていれば、普段どんな悪いことをしていても救われる、そんなんでしょか？  
それなら私などはとても助かりますが、悪い事ばかりしてきていますからね。

これはそういう事ではないと思います。ではどうゆうことでしょうか？それは楽々亭に来て安藤先生に聞いてみて下さい。私ではわかりません。

「楽々亭」では、安藤先生がこうしたことをわかりやすく解説してくださいますが、私は頭が悪いのでまだよく理解できていませんが、人生後残り少ない私にとって急いで勉強、そして何より信心する事が大切としみじみ感じている昨今です。

楽々亭に来られている皆さんは、自分の生きる意味、幸せに生きるにはなど真剣に考えておられる方が多くて、私は勉強させて頂いています。この歎異抄はまだ中途ですが、優しい言葉の陰でも難しい事が語られています。いつも深いことに迷っている私ですが、みなさんと共に考え、信じて、前に進みたいと思っています。次回はこちらで語られている他力とは？を考えてみたいと思います。……

籠谷 弘



### 楽々亭 10月の予定

10月11日（火）

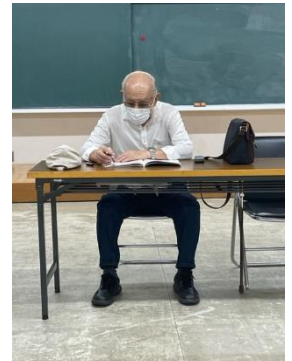
西京区役所洛西支所会議室

午前10時～12時

9月に開催した場所です。

表玄関口から入って下さい。

い。



### 楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。